

防災のすゝめ

6月から10月にかけては水害が発生しやすいシーズンです。台風や集中豪雨に見舞われたとき、まちはどうなってしまうのか？ 私たちはどのように対応すればいいのか？ もしもの時に備えて、私たちは何ができるのか？ 一緒に考えましょう。

100年に1度（2日間雨量・440mm）といわれるような大雨が降ったら、まちはどうなってしまうのでしょうか？ 次の写真は、姉川・高時川が大雨によって増水し、堤防が決壊したり水があふれたりした場合に、見慣れた光景がどのように変わってしまうのかをシュミレーションによって示しています。

このような事態に陥る可能性もあることを想定して、日ごろから備えを万全にしておきましょう。



長浜駅（北船町）想定浸水深は0.5m未満。

※注意 このはん濫シュミレーションは、姉川・高時川から水があふれたときに、浸水深が最大となる場合を示したものであり、実際とは異なる可能性があります。



リュートプラザ（難波町）想定浸水深は2.0m未満

河川災害や土砂災害には前兆現象があります。自身の住んでいる土地の特性を理解し、状況の変化に注意しましょう。

河川災害の主な前兆現象

- 堤防の川側が崩れはじめた
- 堤防の土が削り取られたり、護岸が崩れ始めた
- 堤防の側面から水が漏れ出した
- 増水が速く水が堤防を越えそう
- 堤防にひび割れが生じた
- 堤防近くの地盤から水が噴き出る



土砂災害の主な前兆現象

- 腐った土のおいがする
- 山鳴りがする
- 沢の水が濁ったり、流木が混ざったりする
- 雨が降り続けているのに川の水量が急激に減る
- 斜面にひび割れや膨らみなどの変形が見られる
- 斜面から水が噴き出たり、湧き水が増えた
- 斜面から石ころが落ちたり、音がしたりする
- 斜面から水が湧き出たり、地面にひび割れができる
- 地面の一部に凹凸ができる
- 山の木立が不揃いになったり、井戸の水が濁る
- 池や沼の水が増減したり、水田の水が急に減ったりする

行政の呼びかけって？

市では各種情報をもとに、今後の気象予測や各地域からの巡視結果、避難行動の難易度（夜間や暴風の中での避難）などを総合的に考え、避難勧告や避難指示を発令します。下記の表を参考に備えてください。

避難情報の種類	皆さんがとるべき行動
避難準備	避難の準備を整え、防災無線・ラジオ・テレビに注意。高齢者や子どもはこの段階で避難場所へ。
避難勧告	家族、近所で助け合いながら指定された避難場所に速やかに避難を始めてください。
避難指示	危険が間近に迫っています。一刻も早く避難場所へ避難を完了してください。



避難時の注意事項

雨足が強まり避難が必要な状況になると、家から避難先までの道路は、普段と全く違った状態になります。避難時には助け合いの精神と慎重な行動を心がけてください。

動きやすい服装で。長靴は水が入ると動けなくなるため、運動靴等にしましょう。 	持ち出す荷物は最小限に。リュックサックなどを背負い、手は自由にしましょう。 	移動は徒歩で。車は早くあきらめる。 
川に近づかない。台風などの大雨時には増水・氾濫の恐れがあります。 	屋外では飛来物に注意しましょう。 	高齢者や子ども、身体の不自由な人に気を配り、避難に協力しましょう。 

もしもの時に備えて、私たちにできること。家族会議を開こう。地域の人と話そう。

家族の役割分担

いざというときの、一人ひとりの役割（お年寄りや子どもなど、誰が誰を助けに行くか）を決めておきましょう。ただし、災害が起きたときに家族全員がそろっているとは限らないので、柔軟に対応できるようにしておきましょう。

家の危険箇所を確認

家の中で安全な場所、危険な場所を確認しておきましょう。災害の種類によって対応の仕方は異なりますが、水がついて困るものは2階に上げておく、家具が倒れないように固定しておくなどの基本的な対策はとっておきましょう。

家族の避難場所・集合場所

近くの避難所を確認し、連絡が取れないときに集合する場所も決めておきましょう。どんな状況にも対応できるように2～3箇所ほど決めておき、道順なども確認しておきましょう。

非常持ち出し品・備蓄品の確認

非常持ち出し品や備蓄品などの置き場所を決め、みんなで確認しましょう。食料の賞味期限や電池の使用期限などが切れていないか確認しましょう。

家族との連絡・安否の確認方法

災害発生時は、電話やインターネットがつながりにくくなることがあります。「災害用伝言ダイヤル171」や「安否確認システム」など家族が離れ離れになったときの連絡方法を決めておきましょう。

地域のつながりを大切に

自治会や町内会など、隣近所の人との交流はいざというときの助けになります。特に要援護者（高齢者や子ども、しょうがい者、妊婦、外国人）は自力での避難が難しく、地域での協力が必要です。

- 市では自主防災、地域防災のための「行政出前講座」を行っています。詳しくは「広報ながはま5月1日号」または市ホームページをご覧ください。
- 長浜市安全・安心メール配信システム（防災情報） nagaml.bousai@mpme.jp
- 災害に関する情報は市が配布しているものやインターネット上に公開されているものなど、たくさんあります。下記を参考にして、いざというときのために日ごろから情報収集をしておきましょう。
 - ◇市ホームページ <http://www.city.nagahama.shiga.jp>
 - ◇滋賀県防災ポータル <http://www.pref.shiga.jp/bousai/>
 - ◇国土交通省防災情報提供センター <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
 - ◇私の防災サバイバル手帳（消防庁） http://www.fdma.go.jp/html/life/survival/hyo1-4_01.html

